

今年の展望及び塀を対象にした 簡単施工の高機能仕上げ材

ヤブ原産業株式会社 販売営業部 課長
坂本 昌宏

謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

①大きく変化しつつある社会情勢の中で、今年一年の展望について——

2020年は言わずもがな、日本に留まらず世界が新型コロナウイルスに脅かされ、かつそれによる感染症や景気悪化を危惧して、予定していた工事の中断・中止が少なくなかった。2021年も、依然としてコロナ禍の収束の目途が立たず、閉塞感が払拭できていない。しかし、コロナ禍による新しい生活様式にも慣れて、感染症対策についても認知した今、住宅の新築・改修工事は、昨年よりは上向きになると予想する。

②推奨製品の特長——

「Hey浸透フィニッシュ」は、主に塀や壁の表層強化と保護を目的とした仕上げ材である。大谷石、コンクリートブロック等の表層は、様々な要因により劣化、脆弱化していくが、当該製品は表層強度を回復させ、劣化・脆弱化の進行を食い止めて将来的に保護していく。また、新設時にも保護材として使用することができる。当該製品は特許を取得した浸透メカニズムにより、脆弱層への浸透・強化が可能になった(図1)。

その浸透強化力により、従来の水性の保護材では不可能であった表層強化と保護を同時に実現させた。例えば大谷石に使用した場合は、ミソと呼ばれる脆弱層を固め、経年による色の変化も抑えることが可能になった(図2)。また、水性の一液タイプなので、刷毛やローラーで簡単に施工が可能である。

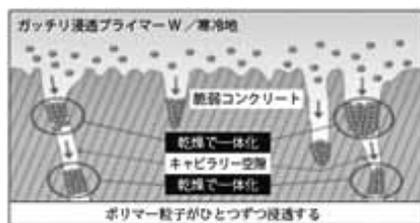


図1 浸透イメージ



図2 大谷石に塗布
色の変化を抑え、表層を保護する

③今後の展開、PRについて——

昨年、コロナ禍による外出自粛により、家で過ごす時間が増えて一般の方がDIYとして住宅の簡単なリフォームを行うケースが増えている。「Hey浸透フィニッシュ」においても、その影響から昨年より一般の方が購入するケースが格段に増えている。このDIYの潮流は今後更に加速すると予想する。

「Hey浸透フィニッシュ」は前述したとおり、誰もが使いやすく高機能を備えた商品である。そのため、プロの方のみならず、一般の方でも簡単に施工が可能である。

今後建築業界においては、ますます環境に優しく自然素材を重視した仕上げ材が求められると推測するが、それらの仕上げ材の保護・改修として「Hey浸透フィニッシュ」は最も効果的な商品であるといえる。その効果をしっかりと一般の方にまで広げるため、インターネット等を駆使しPR活動を行っていく。

ヤブ原産業株式会社

〒334-0054

埼玉県川口市安行北谷546

☎ 048-297-4111 FAX 048-290-1198

URL=http://www.yabuhara-ind.co.jp/

塀・壁用無機質専用水性浸透強化仕上げ材

Hey浸透フィニッシュ



◎概要

「Hey浸透フィニッシュ」は主に塀や壁の表面強化と保護を目的とした仕上げ材です。大谷石、コンクリートブロック等の表層は、雨打たれ、凍害、二酸化炭素など、様々な要因により劣化、脆弱化していきます。「Hey浸透フィニッシュ」は表面強度を回復させ、劣化、脆弱化の進行を食い止めて、将来的に保護していく仕上げ材です。また、新設時の表面も保護します。また、浸透が不可能だった脆弱層にも独自のナノテクノロジーを応用し、ポリマー粒子径30～50nmと分子レベルまで小さくすることで浸透を可能にし、無機質系部材の表面を強化します。

◎特長

- ①塗布したままの仕上げで耐摩耗性・耐汚染性が向上します。
- ②天然石の石相を際立たせます。
- ③施工後は汚れが付きにくくなります。
- ④一液なので可使時間もなく、そのまま塗装が可能です。
- ⑤脆弱した無機質系部材表面に浸透し強化します。また、吸水を抑制し、かつ空気遮断性を高めて部材を保護します。
- ⑥水性なので有機溶剤の発散がありません。

◎用途

- ①大谷石・十和田石・ライムストーン・ブロック塀等の表層の浸透強化・保護・吸水抑制・汚れ防止
- ②擁壁・基礎部の浸透強化、保護、吸水抑制、中性化抑制、汚れ防止
- ③漆喰の浸透強化、保護、吸水抑制、汚れ防止
- ④ヘアークラックからの吸水、白華抑制